

## 令和元年度第3回千葉南警察署協議会

### 1 開催日

令和元年12月26日（木曜日）

### 2 開催場所

千葉南警察署

### 3 出席者

・協議会委員 7人                      ・警察署 10人

### 4 議事

(1) 第18回警察署協議会代表者会議出席結果報告

(2) 「日本の警察」説明（警察庁作成広報資料）

(3) 生活安全課業務結果について

ア 管内の犯罪情勢

イ 署重点犯罪に対する防犯活動

ウ 検挙状況

エ 年末年始特別警戒取締り

(4) 令和元年の検挙状況等について

ア 刑法犯認知・検挙状況

イ 具体的検挙

(5) 交通事故発生状況及び死亡事故抑止対策について

ア 交通事故発生状況

イ 交通事故の特徴

ウ 交通死亡事故抑止対策

エ 冬の全国交通安全運動

(6) 災害発生状況について

ア 発生状況と特徴

イ 防災への取組

### 5 質疑、意見、要望等

(1) 災害発生状況について

**【質問】** 今秋の台風・大雨被害に伴い、警察への通報内容は、どのようなものだったか知りたい。

**【回答】** 台風の際は、屋根やトタンが飛ばされそう、物置が倒れそう等の内容が、また、大雨の際は、冠水、土砂崩れ、倒木情報が多く入電した。

また、当署管内には180基の信号機が設置されているが、信号機滅灯の通報も多数入電し、当署の電話回線が塞がってしまった状況もあった。

(2) 災害発生状況について

**【意見】** 緑区の避難所開設場所は、地震災害対応のために34か所あるが、ほとんどが公民館で、学校などは開設しておらず、自治会と行政との意思の疎通が欠けており、今後の対応策として大いに反省点があった。様々な災害に対応

できるよう、自治会として検討している。

【意見】ゴルフ場では、約1,200本の倒木撤去作業から復旧まで約2か月を要した。電力会社の作業も倒木で遮られ、最終的に自治体を通じて自衛隊の派遣要請を行った。自治体には、もう少し早い対応をしていただければと感じた。また、行政だけに頼らず、どの職員でも対応できるように、伐採機の操作などを習得する努力をするなど、地球温暖化現象を踏まえ、この経験から得たことを今後に生かさねばと考えている。

【意見】近隣では、未だに倒木等で完全復旧していない場所がある。

【回答】各関係機関とも、順番に対応するとのことで、市民の皆さまには大変なご苦労があったことと思います。今後の対応として教訓となった。

【意見】総合病院では、停電が発生した為、停電被害の無かった同系列の施設から必要物資を搬送して使用するなどの対応を行った。

しかし、冠水被害を受けた近隣の介護・医療施設から協力依頼があったにもかかわらず、施設に近づく事さえできず、早い段階での避難や対応が必要だと感じた。

【意見】罹災証明の発行に来庁する区民の方々が現在もいらっしゃる。

小学校は休校としたが、中学校は、短時間授業を実施した。停電で給食提供ができないため、各自弁当持参としたが、家庭でも停電被害のため食事提供が困難な状況にあったため、様々なご意見をいただいた。「学校は災害に弱い」と感じた。

【意見】停電が無かったため、幼児の保育は可能と考えていたが、出勤したところ施設の目の前に大木が倒れかかっており、警察へ通報したところ関係機関へ連絡してくれ、保育業務は中止したものの、早期に職員の安全確保ができた。

【意見】緑区では、皆さんが安全に避難できるように、浸水場所など盛り込んだ「福祉防災マップ」というパンフレットを改訂し、各世帯への無償配布を行う。

【意見】自然災害は、その時になって初めてわかることがあり、どんなに努力しても、仕方が無いこともある。この経験を様々な苦難を乗り越えて行ける「力」にしていいただければと思う。

【回答】窓口業務を継続しながら、署員一丸となって、災害対応を致しました。土砂災害のため現場の警察官が避難誘導を行いました。ペットと共にでないと避難できないとおっしゃる方もありました。また、2回目に発生した土砂災害では、現場の警察官の身体にも危険が迫り、退避を余儀なくされ、やむなく避難を致しました。

未曾有の災害であったことから、住民の皆さんも各関係機関も様々なご苦労があったと思います。

避難所へ避難できず、ご近所同士で助け合ったという話も聞いております。

ご近所との繋がり大切さを、改めて認識したところでございます。

経験したことを決して無駄にすることなく、皆さまのご協力をいただきながら、これからも様々な警察活動を推進して参りたいと思っております。